



京都文化祭典 記録と未来への提言

京都文化祭典連絡協議会

平成29年3月



悠久の歴史を誇る京都のまちで、市民や観光客の皆様には、世代の垣根なく、音楽、美術、演劇、映画、伝統芸能など、様々な文化芸術に親んでもらいたい。そういう想いで13年間にわたって、「京都文化祭典」を開催してまいりました。毎年様々な趣向を凝らし、秋を彩る恒例イベントとして、多くの皆様に愛され、また、多くの感動を届けてこられたと自負しております。

本冊子は、京都文化祭典連絡協議会として、13年間の「京都文化祭典」の記録をまとめ、その成果と課題から見えてきた、京都における未来の文化事業への提言を、京都市をはじめとする文化事業の主催者の皆様へとお伝えするものです。文化庁の京都への全面的移転が決定し、新たな文化行政の転換に向け、「京都文化祭典」の理念や意思が、そして築き上げたノウハウが、今後の京都の文化事業に継承されることを、大いに期待いたします。

最後に、京都文化祭典の開催にあたり、多大なる御尽力をいただきました多くの皆様に、深く御礼申し上げます。

京都文化祭典連絡協議会
座長 平井 誠一

目次

I 趣旨	1
1 開催趣旨		1
II 全事業の記録	3
平成 16 年度		3
平成 17 年度		7
平成 18 年度		10
平成 19 年度		14
平成 20 年度		17
平成 21 年度		20
平成 22 年度		23
平成 24 年度		26
平成 25 年度		28
平成 26 年度		30
平成 27 年度		32
平成 28 年度		34
(参考 1) 年表		36
(参考 2) 京都文化祭典総入場者数及び京都市予算額の推移		37
(参考 3) 平成 24～28 年度の共通広報概況		37
(参考 4) 京都文化祭典連絡協議会委員		37
III 未来への提言	38
1 京都文化祭典のアウトカム／インパクト		38
2 政策環境の変化と京都文化祭典の理念継承		39
3 京都文化祭典の成果・反省からの提言		40

京都文化祭典 記録と未来への提言

I 趣旨

1 開催趣旨

(1) 平成 16 年度事業報告書から

『悠久の時の中で数々の文化を育ててきた京都。日本を代表する古都・京都は、歴史の中で培われてきた伝統芸能と先進的なスタイルの芸術が集う場でもあります。』

「京都文化祭典 京の華舞台」は、こうした京都の有形無形の文化資源を生かして、市民の芸術文化活動のより一層の振興を図るとともに、京都が誇る伝統と先進の芸術文化を全国に発信し、観光客 5,000 万人構想の実現を目指して開催しました。』

(参考 1) 平成 16 年 2 月市会（普通予算特別委員会）における山岸文化部長答弁

「京都文化祭につきましては、元々京都市はこの 9 月、10 月、大体秋にいろんな文化的な催しを実施してきたところでございますが、更にそれを効果的なものにするということ。それから観光の要素、夏休みと、それからもみじのシーズンの丁度間の観光オフシーズンということもございまして、事業を集中的に実施することによって、情報発信も行っていこうと。広報についても京都市外へも積極的に行っていこうというねらいで実施したものでございます。…

今回、事業を集中した一つのねらいは、共通広報ということで、この 1 箇月間にいろんな事業が行われるということ、市内だけでなく、市外、特に多くの人を抱えております東京方面なんかにも広報、力を入れていきたいということで事業を統合したわけでございます。」

(参考 2) 平成 17 年 2 月市会（普通予算特別委員会）における柴田文化市民局長答弁

「（小林あきろう）委員から前にもこのエディンバラのような祭にならないのかという御提案がございまして、私自身もそういう風な方向を願っておるということも前にも申し上げました。ただ、その点においてはずっと変わらないわけで、そういう方向性を目指していきたいと思いますが、現状は、やはりそこからほど遠いなというのが現状だと思います。どこが違うかと言いますと、やはり、初年度であったということもありますが、今までの事業の寄せ集めにすぎないじゃないかという御批判もありました。統一性、コンセプトというのがはっきり見えないと。そこら辺はこれからの課題ですが、何よりも、やはり今までの映画祭にしても、京都まつりにしても、全部そうですけれども、音楽祭もそうですが、やはり京都市が予算化して、この範囲内で事業をやると、こういうことがどうしても根本になっておりました。それに若干の協賛金をいただいて、それを少し規模を膨らませてと、こういうのが精々でしたので、エディンバラの在り方と大いにその所が根本的に違っていると。そうなりますと、そういう方向を目指す場合に、何をもってそういうけん引車と言うか、そういう方向に引っ張っていくものがあるのかということ。やっぱり、エディンバラの場合は行政じゃないと思うんです。ですから、今やっていながら、そういう行政以外で引っ張っていただけるような存在というのはどこに求めるべきかというのが大きな課題だなという風に思っています。ただ、そういう方向は、飽くまで理想として追求していかなければならないと思っています。」

(2) 開催趣旨の整理

初年度の事業報告（及び事務局を務める京都市の幹部の公式発言）に鑑み、京都文化祭典の開催趣旨は以下の3点に整理することができる。

- ア 市民の芸術文化活動のより一層の振興
- イ 伝統芸能と先駆的な文化芸術を全国に発信による、観光客 5,000 万人構想の実現（夏休みと紅葉の間の観光オフシーズンにおける）共通広報
- ウ 理想はエディンバラ・フェスティバル^{※1}

※1 エディンバラ・フェスティバル

スコットランドの首都エディンバラで毎年 8 月の同時期に開催される芸術と文化の祭典。1947 年に「人間精神の開花のための基礎を提供する」という理念を掲げて創始された「エディンバラ国際フェスティバル」や、その周りで行う自主公演から発展した「エディンバラ・フェスティバル・フリンジ」を中心とした、同期間にエディンバラで開催される複数の独立したフェスティバル（「エディンバラ国際映画祭」「エディンバラ・ジャズ・ブルース・フェスティバル」等）の総称。

「エディンバラ国際フェスティバル」は主に古典・現代演劇やオペラ、クラシック音楽・バレエを扱うのに対し、「エディンバラ・フェスティバル・フリンジ」は演劇、コメディ、音楽、舞踊、大道芸等幅広いジャンルを扱い、資格審査なく誰でも公演できるシステムとなっている。

II 全事業の記録

<平成 16 年度>

平成 16 年 9 月 18 日（土）～10 月 24 日（日）

1 オープニングイベント京都まつり

時期：平成 16 年 9 月 18 日（土），19 日（日）

場所：御池通，市役所前広場

概要：都大路パレード，交流ひろば（ステージパフォーマンス，展示・体験コーナー）を実施

入場者数：186,900 名



2 京都の秋 音楽祭

時期：平成 16 年 9 月 26 日（日）～12 月 10 日（金）

場所：京都コンサートホール

概要：全 17 事業

入場者数：15,798 名

3 京の華舞台

(1) 「舞と響のハーモニー」

時期：平成 16 年 9 月 18 日（土）

場所：京都市役所前広場 特設ステージ

概要：片山清司，丸石やすし，味方玄，分林道治，京都フィルハーモニー室内合奏団が出演

入場者数：650 名

(2) 古都五宴 伝統芸能への誘い

ア ～観世流能楽が描く，雅の小宇宙～ “古今の花”

時期：平成 16 年 9 月 20 日（月・祝）

場所：二条城 二の丸御殿台所

概要：片山清司，谷田宗二郎ら出演

入場者数：320 名

- イ ～舞い、奏で、融けあう、東西の心～ “魂の遭遇”
時期：平成 16 年 9 月 24 日（金）
場所：金剛能楽堂
概要：金剛永謹，千住真理子が出演
入場者数：513 名
- ウ ～未来へ受け継がれる，幽玄の美～ “伝授の幽”
時期：平成 16 年 10 月 2 日（土）
場所：西本願寺 南能舞台
概要：片山清司，谷田宗二郎，茂山千三郎らが出演
入場者数：202 名
- エ ～二つのアジア，響きわたる癒しの競演～ “美の深き流れ”
時期：平成 16 年 10 月 16 日（土）
場所：永観堂 御影堂
概要：伍芳，浄土宗西山禅林寺派法事部が出演
入場者数：434 名
- オ ～伝統の舞台に咲く，茂山狂言の世界～ “現今に息づく”
時期：平成 16 年 10 月 17 日（日）
場所：永観堂 御影堂
概要：茂山千作・千三郎・宗彦・茂・童司ほかが出演
入場者数：457 名



(3) 平安神宮幻夜コンサート 京の夢「風と響」

- ア 風の宴
時期：平成 16 年 10 月 2 日（土）
場所：平安神宮 特設ステージ
概要：上々颱風が出演
入場者数：1,101 名

イ 響の宴

時期：平成 16 年 10 月 3 日（日）

場所：平安神宮 特設ステージ

概要：鬼太鼓座が出演

入場者数：1,144 名

(4) 京の伝統文化

時期・場所：平成 16 年 9 月 22 日～27 日・二条城 二の丸御殿台所

〃 9 月 24 日・金剛能楽堂

〃 10 月 2 日・西本願寺

〃 10 月 16 日, 17 日・永観堂

概要：池坊美香のプロデュースによる、いけ花の展示

(5) カントリードリーム

時期：平成 16 年 10 月 9 日（土）

場所：円山公園音楽堂

概要：チャーリー・マッコイ、寺本圭一らが出演

入場者数：1,200 名

(6) トンネルコンサート

時期：平成 16 年 10 月 9 日（土）、10 日（日）

場所：京都市道高速道路 1 号線 稲荷山トンネル内

概要：供用開始前のトンネルをステージに実施。三好荒山、内田奈織（9 日）、Rin（10 日）が出演

入場者数：9 日 580 名、10 日 650 名 ※各日 2 ステージ実施

(7) アートスクエア

時期：平成 16 年 9 月 20 日, 23 日, 26 日, 10 月 9 日, 11 日, 17 日, 23 日

場所：市役所前広場, 大丸京都店, ゼスト御池, 京都駅ビル

概要：公共空間で、音楽、ダンス、民俗芸能等のプログラムを、延べ 7 回、25 団体の出演により実施 ※うち 2 回は荒天のため中止

入場者数：3,650 名



(8) 新しいまちのステージ

地域文化会館を拠点として文化芸術活動を行うフランチャイズ団体による無料公演

入場者数：2,190 名 ※7 公演の合計

5 京都映画祭

時期：平成 16 年 9 月 18 日（土）～26 日（日）

場所：京都駅ビル室町小路広場，祇園会館，京極弥生座 1，京都文化博物館など

概要：映画 35 本を上映

入場者数：20,632 名



6 その他

連携事業 3 事業，協賛事業 119 事業

<平成17年度>

平成17年9月17日(土)～11月20日(日)

1 オープニングセレモニー

(1) 開会式

時期：平成17年9月17日(土)

場所：京都市役所前広場 特設ステージ

概要：能楽のほか、能囃子をベースに、子どものパフォーマンス等を取り入れたステージを実施。茂山茂，味方玄・團らが出演

入場者数：約800名



(2) 市民ふれあいステージ

時期：平成17年9月18日(日)，19日(月・祝)

場所：京都市役所前広場，ゼスト御池

概要：66団体，1,294名が出演

入場者数：11,000名

2 京都の秋 音楽祭

時期：平成17年9月18日(日)～12月9日(金)

場所：京都コンサートホール

概要：全19事業

入場者数：19,496名

3 京の華舞台

(1) 古都五宴 伝統芸能への誘い

- ア 老の宴「煌めきの出逢い～ふたつの先進が、新たな美を描く～」
 日時：平成 17 年 10 月 1 日（土）
 場所：永観堂 御影堂
 概要：三好荒山，ホリ・ヒロシが出演
 入場者数：265 名
- イ 式の宴「響きの清流～歴史に磨かれた美しき旋律を奏でる～」
 日時：平成 17 年 10 月 2 日（日）
 場所：永観堂 御影堂
 概要：溝口肇，浄土宗西山禅林寺派法事部が出演
 入場者数：386 名
- ウ 参の宴「心と技の共鳴～優美な舞と繊細な調べが響きあう～」
 日時：平成 17 年 10 月 7 日（金）
 場所：金剛能楽堂
 概要：金剛永謹，大井浩明が出演
 入場者数：224 名
- エ 四の宴「伝承の呼応～異文化が融けあい，古都の舞台に並び立つ～」
 日時：平成 17 年 10 月 10 日（月・祝），11 日（火）
 場所：知恩院 御影堂
 概要：茂山七五三・千三郎・正邦，小松亮太，熊田洋が出演
 入場者数：10 日 519 名，11 日 514 名
- オ 五の宴「雅の飛翔～京に息づく文化の結晶が輝きを放つ～」
 日時：平成 17 年 10 月 15 日（土），16 日（日）
 場所：二条城 二の丸御殿台所
 概要：片山清司が出演
 入場者数：15 日 219 名，16 日 219 名

(2) カントリードリーム

- 時期：平成 17 年 10 月 10 日（月・祝）
 場所：円山公園音楽堂
 概要：ジェット・ウイリアムス，チャーリー・マッコイらが出演
 入場者数：1,116 名



(3) フォークコンサート「京の旅人」

時期：平成 17 年 10 月 22 日（土）

場所：円山公園音楽堂

概要：谷村新司，尾崎亜美，豊田勇造らが出演

入場者数：2,212 名

(4) 平安神宮幻夜コンサート

時期：平成 17 年 10 月 29 日（土），30 日（日）

場所：平安神宮 特設ステージ

概要：29 日は森山直太朗，30 日は矢井田瞳が出演

入場者数：各日約 4,350 名

(5) 新しいまちのステージ

地域文化会館を拠点として文化芸術活動を行うフランチャイズ団体による無料公演

入場者数：1,570 名 ※5 公演の合計

4 日本文化！世界文化！

(1) 劇団四季「アイダ」

(2) 世界アーティストサミット

(3) 芸文協フォーラム・シンポジウム「ヨーロッパと京都」

時期：平成 17 年 9 月 21 日（水）

場所：京都芸術センター 講堂

概要：京都に設置されている，ヨーロッパの文化交流機関の館長が，一堂に会してシンポジウムを実施

入場者数：220 名

5 その他

連携事業 11 事業，協賛事業 149 事業

<平成 18 年度>

1 開会式

時期：平成 18 年 9 月 16 日（土）

場所：京都市役所前広場 特設ステージ

概要：町かどの藝能，小中学生による邦楽演奏等を実施

入場者数：600 名

2 市民ふれあいステージ

時期：平成 18 年 9 月 17 日（日），18 日（月・祝）

場所：京都市役所前広場，ゼスト御池

概要：一般公募によるステージパフォーマンス，展示コーナーを実施

63 団体，1,370 名が出演

入場者数：12,000 名



3 京都の秋 音楽祭

時期：平成 18 年 9 月 17 日（日）～12 月 10 日（日）

場所：京都コンサートホール

概要：全 22 事業

入場者数：21,718 名



4 京の華舞台

平成 18 年 9 月 27 日（水）～10 月 29 日（日）

(1) 古都五宴

ア 壹の宴「伝統の新章～和の技の継承者たちが新境地を魅せる～」

時期：平成 18 年 9 月 27 日（水）～30 日（土）

場所：京都芸術センター 講堂

概要：大江信行，茂山童司，竹本駒之助ら出演

入場者数：465 名 ※4 日間の合計

イ 貳の宴「優美の対面～異郷の芸能が，古都に美の真髄を描く～」

時期：平成 18 年 10 月 15 日（日）

場所：知恩院 御影堂

概要：茂山千五郎，チェン・ミン，費堅蓉ら出演

入場者数：647 名

ウ 参の宴「夢見の調べ～先進の旋律と精悍な歌声が響きあう～」

時期：平成 18 年 10 月 21 日（土）

場所：金戒光明寺 御影堂

概要：松永貴志，加藤ヒロユキ，金関環ら出演

入場者数：407 名

エ 四の宴「華の重奏～麗しのひととき，ふたつの音色が出逢う～」

時期：平成 18 年 10 月 22 日（日）

場所：金戒光明寺 御影堂

概要：木住野佳子，上松美香，西嶋徹出演

入場者数：283 名

オ 五の宴「雅の結晶～京に輝く伝統が、幽玄の世界へ誘う～」

時期：平成 18 年 10 月 28 日（土），29 日（日）

場所：二条城 二の丸御殿台所

概要：片山清司が出演

入場者数：28 日 296 名，29 日 256 名

(2) 円山コンサート

ア フォークコンサート「京の旅人」

時期：平成 18 年 10 月 8 日（日）

場所：円山公園音楽堂

概要：南こうせつ，イルカ，ソニンらが出演

入場者数：2,271 名

イ カントリードリーム

時期：平成 18 年 10 月 7 日（土）

場所：円山公園音楽堂

概要：ジム・エド・ブラウン，チャーリー・マッコイらが出演

入場者数：839 名

(3) 平安神宮幻夜コンサート

時期：平成 18 年 10 月 27 日（金），28 日（土）

場所：平安神宮 特設ステージ

概要：ケミストリーが出演

入場者数：27 日 4,301 名，28 日 4,391 名



(4) 新しいまちのステージ

地域文化会館を拠点として文化芸術活動を行うフランチャイズ団体による無料公演

入場者数：1,740 名 ※6 公演の合計

5 京都映画祭

時期：平成 18 年 10 月 24 日（火）～29 日（日）

場所：祇園会館，京都ドイツ文化センター，MOVIX 京都，東映京都撮影所

概要：映画 40 本を上映

入場者数：11,710 名

6 日本の文化！世界の文化！

- (1) アルフォンス・ミュシャ展
- (2) 京都国際会議 2006
- (3) クリスト&ジャンヌ＝クロード講演会

7 その他

連携事業 19 事業, 協賛事業 132 事業

<平成 19 年度>

1 オープニングイベント 市民ふれあいステージ

時期：平成 19 年 9 月 16 日（日），17 日（月・祝）

場所：京都駅ビル（駅前広場，室町小路広場ほか）

概要：一般公募によるステージパフォーマンス，展示コーナーを実施
53 団体，1, 256 名が出演

入場者数：36, 000 名



2 京都の秋 音楽祭

時期：平成 19 年 9 月 16 日（日）～11 月 30 日（金）

場所：京都コンサートホール

概要：全 14 事業

入場者数：13, 238 名

3 京の華舞台

平成 19 年 9 月 22 日 (土) ~10 月 19 日 (金)



(1) 古都の宴

ア 壹の宴「清経」「三輪」～幽玄の気配 城に満ちみちて輝く～

時期：平成 19 年 9 月 22 日 (土), 23 日 (日)

場所：二条城 二の丸御殿台所

概要：片山清司が出演

入場者数：22 日 199 名, 23 日 244 名

イ 式の宴「源氏物語再飛翔～千円前と現在～未来を彷彿とさせる小粋な音楽会～」

時期：平成 19 年 9 月 29 日 (土)

場所：渉成園 枳殻邸

概要：深川美和, ザッハトルテらが出演。月見茶会, いけばな展示も同時開催

入場者数：149 名

ウ 参の宴「狂言とうたのコラボレーション～京と琉球 スリリングに出逢う～」

時期：平成 19 年 10 月 19 日（金）

場所：知恩院 御影堂

概要：茂山千五郎・七五三・茂，夏川りみらが出演

入場者数：695 名



(2) 円山コンサート

ア フォークコンサート「京の旅人」

時期：平成 19 年 10 月 6 日（土）

場所：円山公園音楽堂

概要：伊勢正三，白鳥英美子，太田裕美，安倍なつみらが出演

入場者数：2,130 名

イ カントリードリーム

時期：平成 19 年 10 月 7 日（日）

場所：円山公園音楽堂

概要：ロジー・フローレス，宮前ユキ，チャーリー・マッコイらが出演

入場者数：1,031 名

(3) 50 周年記念 第 287 回市民寄席

時期：平成 19 年 9 月 23 日（日）

場所：祇園甲部歌舞練場

概要：桂福団治，林家染丸，笑福亭松喬らが出演

入場者数：834 名

(4) 50 周年記念 第 207 回市民狂言会

時期：平成 19 年 10 月 11 日（木）

場所：円山公園音楽堂

概要：茂山千作・千之丞，茂山忠三郎らが出演

入場者数：786 名

5 日本の文化！世界の文化！

(1) 世界アーティストサミットイベント

6 その他

連携事業 28 事業，協賛事業 113 事業

<平成 20 年度>

1 オープニング

時期：平成 20 年 9 月 14 日（日）
 場所：京都駅ビル（室町小路広場）
 概要：市内公立小中高校吹奏楽部による演奏など
 入場者数：900 名

2 市民ふれあいステージ

時期：平成 20 年 10 月 18 日（土）、19 日（日）
 場所：梅小路公園
 概要：一般公募によるステージパフォーマンス，展示コーナーを実施
 49 団体，1,166 名が出演
 入場者数：38,000 名

3 京都の秋 音楽祭

時期：平成 20 年 9 月 14 日（日）～11 月 28 日（金）
 場所：京都コンサートホール
 概要：全 15 事業
 入場者数：13,182 名

4 京の華舞台

時期：平成 20 年 9 月 20 日（土）～10 月 25 日（土）

(1) 古都の宴

ア 壹の宴「風雅のころ」

時期：平成 20 年 9 月 20 日（土）
 場所：青蓮院
 概要：黛まどか，藤舎名生，笹岡隆甫が出演
 入場者数：112 名

イ 貳の宴「幽玄」

時期：平成 20 年 9 月 27 日（土），28 日（日）
 場所：二条城 二の丸御殿台所
 概要：片山清司が出演
 入場者数：27 日 175 名，28 日 241 名

ウ 参の宴「優雅の双奏」

時期：平成20年10月17日（金）

場所：知恩院 御影堂

概要：茂山千五郎・正邦・茂，つじあやのが出演

入場者数：269名

エ 四の宴「もののあはれ～源氏物語 平安の世に思いを馳せる～」

時期：平成20年10月25日（土）

場所：廬山寺

概要：山本淳子，川村旭芳が出演

入場者数：114名



(2) 円山コンサート

ア フォークコンサート「京の旅人」

時期：平成20年10月11日（土）

場所：円山公園音楽堂

概要：五つの赤い風船，加川良，白井貴子らが出演

入場者数：2,049名

イ カントリードリーム

時期：平成 20 年 10 月 12 日（日）

場所：円山公園音楽堂

概要：ジム・ローダーゲール，チャーリー・マッコイらが出演

入場者数：861 名



5 京都映画祭

時期：平成 20 年 10 月 8 日（水）～13 日（月・祝）

場所：祇園会館，京都みなみ会館，MOVIX 京都ほか

概要：映画 47 本を上映

入場者数：11,102 名

6 その他

連携事業 33 事業，協賛事業 145 事業

<平成 21 年度>

1 オープニングセレモニー

時期：平成 21 年 9 月 13 日（日）

場所：京都コンサートホール 大ホール

概要：ファンファーレ演奏。セレモニー後に「京都の秋 音楽祭」開会記念コンサートを実施

入場者数：1,668 名

2 京都の秋 音楽祭

時期：平成 21 年 9 月 13 日（日）～11 月 22 日（日）

場所：京都コンサートホール

概要：全 15 事業

入場者数：14,044 名



3 市民ふれあいステージ

時期：平成 21 年 10 月 17 日（土）、18 日（日）

場所：梅小路公園

概要：一般公募によるステージパフォーマンス、展示コーナーを実施

48 団体、988 名が出演

入場者数：37,000 名

4 京の華舞台

時期：平成 21 年 10 月 10 日（土）～31 日（土）

(1) 古都の宴

ア 老の宴「風趣の華」

時期：平成 21 年 10 月 16 日（金）

場所：知恩院 御影堂

概要：茂山千五郎・正邦・茂，川井郁子が出演

入場者数：422 名



イ 弐の宴「夢幻の華」

時期：平成 21 年 10 月 24 日（土）

場所：西本願寺 南能舞台

概要：片山清司が出演，大津光章（京都いけばな協会）が展示

入場者数：397 名

- ウ 参の宴「小粋の華」
時期：平成 21 年 10 月 31 日（土）
場所：弥栄会館
概要：bird, だるま商店が出演
入場者数：227 名



(2) 円山コンサート

- ア フォークコンサート「京の旅人」
時期：平成 21 年 10 月 10 日（土）
場所：円山公園音楽堂
概要：南こうせつ, 細坪基佳, 丸山圭子らが出演
入場者数：2,373 名
 - イ カントリードリーム
時期：平成 21 年 10 月 11 日（日）
場所：円山公園音楽堂
概要：チャーリー・マッコイ, ドーン・シアーズらが出演。「カントリーの殿堂」入りを記念して、マッコイ氏に京都市から感謝状を贈呈
入場者数：994 名
- 5 その他
連携事業 35 事業, 協賛事業 182 事業

<平成 22 年度>

時期：平成 22 年 9 月 12 日（日）～10 月 31 日（日）

1 オープニングイベント

時期：平成 22 年 9 月 12 日（日）

場所：ゼスト御池

概要：セレモニー，ステージ企画，特設ブース企画等を実施

入場者数：800 名



2 京都の秋 音楽祭

時期：平成 22 年 9 月 12 日（日）～11 月 21 日（日）

場所：京都コンサートホール

概要：全 18 事業

入場者数：17,465 名

3 市民ふれあいステージ

時期：平成 22 年 10 月 16 日（土），17 日（日）

場所：梅小路公園

概要：一般公募によるステージパフォーマンス，展示コーナーを実施
55 団体，1,006 名が出演

入場者数：39,000 名

4 円山コンサート

(1) フォークコンサート「京の旅人」

時期：平成 22 年 10 月 9 日（土）

場所：円山公園音楽堂

概要：堀内孝雄，因幡晃，りりィ等が出演

入場者数：1,887 名



(2) カントリードリーム

時期：平成 22 年 10 月 10 日（日）

場所：円山公園音楽堂

概要：チャーリー・マッコイ，エリザベス・クック等が出演

入場者数：858 名

5 京都映画祭

時期：平成 22 年 10 月 6 日（水）～11 日（月・祝）

場所：祇園会館，京都シネマ，京都会館，京都芸術センター，京都文化博物館

概要：映画 37 本を上映

入場者数：9,353 名



6 その他

連携事業 44 事業，協賛事業 161 事業

<平成 23 年度>

「国民文化祭 2011・京都」開催のため休止

<平成 24 年度>

時期：平成 24 年 9 月 16 日（日）～11 月 3 日（土）

1 オープニングイベント

時期：平成 24 年 9 月 16 日（日）

場所：ゼスト御池

概要：パレード、セレモニー、ステージ企画等を実施

入場者数：800 名

2 京都の秋 音楽祭

時期：平成 24 年 9 月 16 日（日）～11 月 30 日（金）

場所：京都コンサートホール

概要：全 21 事業

入場者数：18,311 名

3 市民ふれあいステージ

時期：平成 24 年 10 月 6 日（土），7 日（日）

場所：梅小路公園

概要：一般公募によるステージパフォーマンス，展示コーナーを実施

41 団体，931 名が出演

入場者数：55,000 名

4 円山コンサート

(1) フォークコンサート「京の旅人」

時期：平成 24 年 10 月 13 日（土）

場所：円山公園音楽堂

概要：上田正樹，HUKUROH，平松愛理等が出演

入場者数：1,685 名

(2) カントリードリーム

時期：平成 24 年 10 月 14 日（日）

場所：円山公園音楽堂

概要：マンディー・バーネット，チャーリー・マッコイ等が出演

入場者数：921 名

5 京都映画祭

時期：平成 24 年 10 月 2 日（火）～8 日（月・祝）

場所：祇園会館，京都文化博物館，東映京都撮影所

概要：映画 45 本を上映

入場者数：11,536 名

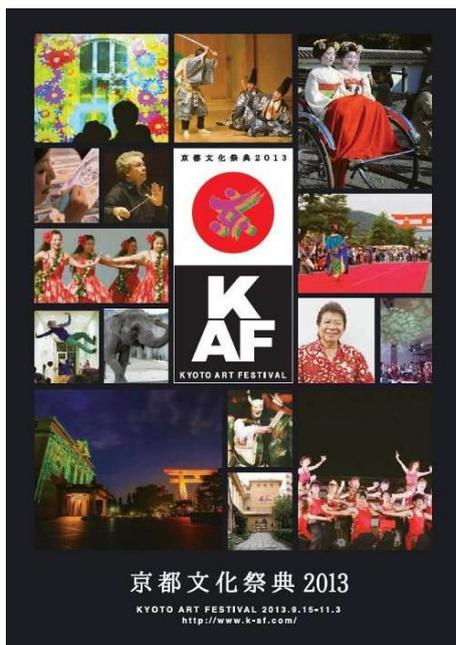


6 その他

連携事業 59 事業，協賛事業 91 事業

<平成 25 年度>

時期：平成 25 年 9 月 15 日（日）～11 月 3 日（日）



1 オープニングイベント

時期：平成 25 年 9 月 15 日（日）

場所：ゼスト御池

概要：パレード，セレモニー，ステージ企画等を実施

入場者数：900 名



2 京都の秋 音楽祭

時期：平成 25 年 9 月 15 日（日）～11 月 30 日（土）

場所：京都コンサートホール

概要：全 25 事業

入場者数：19,697 名

3 市民ふれあいステージ

時期：平成 25 年 10 月 5 日（土），6 日（日）

場所：梅小路公園

概要：一般公募によるステージパフォーマンス，展示コーナーを実施

43 団体，892 名が出演

入場者数：68,000 名



4 円山コンサート

(1) フォークコンサート「京の旅人」

時期：平成 25 年 10 月 12 日（土）

場所：円山公園音楽堂

概要：ビリー・バンバン，きたやまおさむ，庄野真代等が出演

入場者数：2,385 名

(2) カントリードリーム

時期：平成 25 年 10 月 13 日（日）

場所：円山公園音楽堂

概要：マンディー・バーネット，Shohei Toyoda 等が出演

入場者数：801 名

5 その他

連携事業 17 事業，パートナー事業 75 事業

<平成 26 年度>

時期：平成 26 年秋季

1 オープニングイベント「京都文化芸術祭」

時期：平成 26 年 9 月 27 日（土），28 日（日）

場所：円山公園音楽堂，高台寺，圓徳院

概要：「円山フェスタ」，「狂言とフルートの夕べ in 高台寺」，「京ものコンクール」を実施

入場者数：2,670 名



2 京都の秋 音楽祭

時期：平成 26 年 9 月 14 日（日）～11 月 30 日（日）

場所：京都コンサートホール

概要：全 23 事業

入場者数：20,079 名



3 市民ふれあいステージ

時期：平成 26 年 10 月 4 日（土）、5 日（日）

場所：梅小路公園

概要：一般公募によるステージパフォーマンス、展示コーナーを実施

42 団体、844 名が出演

入場者数：56,000 名



4 円山コンサート

(1) フォークコンサート「京の旅人」

時期：平成 26 年 10 月 11 日（土）

場所：円山公園音楽堂

概要：谷村新司、イルカ、スリーハンサムズ等が出演

入場者数：2,456 名

(2) カントリードリーム

時期：平成 26 年 10 月 12 日（日）

場所：円山公園音楽堂

概要：チャーリー・マッコイ、茶木みやこ等が出演

入場者数：818 名

5 その他

連携事業 15 事業

<平成 27 年度>

時期：平成 27 年秋季

1 オープニングイベント「京都文化芸術祭」

時期：平成 27 年 9 月 20 日（日）、21 日（月・祝）

場所：高台寺，圓徳院，高台寺公園

概要：「京都文化祭典 PR ステージ」，「和洋おとあそび」，「京ものコンクール」を実施

入場者数：22,863 名



2 京都の秋 音楽祭

時期：平成 27 年 9 月 13 日（日）～11 月 22 日（日）

場所：京都コンサートホール

概要：全 17 事業

入場者数：21,639 名

3 市民ふれあいステージ

時期：平成 27 年 10 月 3 日（土）、4 日（日）

場所：梅小路公園

概要：一般公募によるステージパフォーマンス，展示コーナーを実施
42 団体，782 名が出演

入場者数：68,000 名

4 円山コンサート

(1) フォークコンサート「京の旅人 again」

時期：平成 27 年 10 月 10 日（土）

場所：円山公園音楽堂

概要：五輪真弓，ビリー・バンバン，渡辺真知子等が出演

入場者数：2,370 名



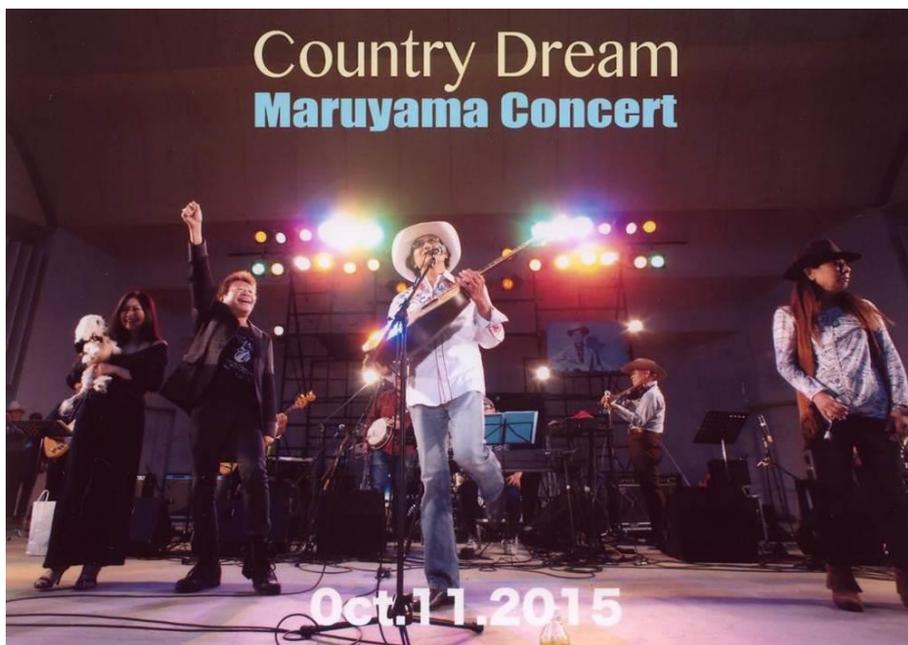
(2) カントリードリーム

時期：平成 27 年 10 月 11 日（日）

場所：円山公園音楽堂

概要：尾崎ブラザーズ，茶木みやこ等が出演

入場者数：804 名

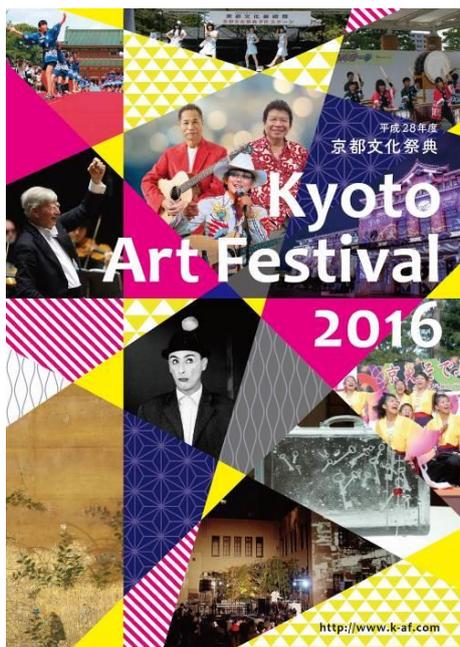


5 その他

連携事業 15 事業

<平成 28 年度>

時期：平成 28 年秋季



1 オープニングイベント「京都文化芸術祭」

時期：平成 28 年 9 月 17 日（土），18 日（日）

場所：岡崎公園，ロームシアター京都

概要：「京都岡崎ハレ舞台スペシャルステージ」，「京ものグルメフェア」，「京ものコンクール」を開催

入場者数：約 41,000 名



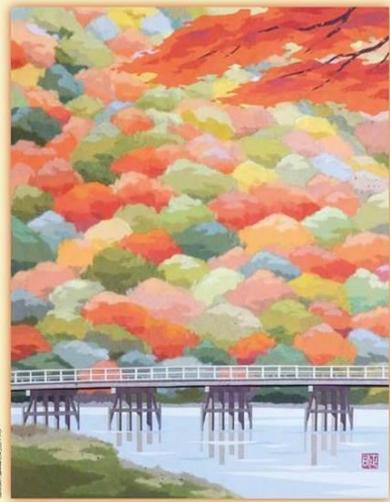
2 京都の秋 音楽祭

時期：平成 28 年 9 月 18 日（日）～11 月 27 日（日）

場所：京都コンサートホール

概要：全 22 事業

入場者数：21,006 名



京都市交響楽団創立60周年 \ 20th AUTUMN KYOTO MUSIC FESTIVAL

京都の秋 音楽祭

開会記念コンサート

2016年9月18日(日) 午後2時開演
京都コンサートホール 大ホール

◆指揮 / 下野 竜也
(京都交響楽団常任指揮者)

◆ヴァイオリン / 三浦 文彰
◆管弦楽 / 京都市交響楽団

すぎやまこういち：ファンファーレ
「序奏MIYAKO」(委嘱作品・世界初演)

シューマン：ヴァイオリン協奏曲 二短調
マーラー：交響曲第1番 二長調「巨人」

全席指定 一般 2,000円 [7歳以上] (税込)
※全席指定席は、座席表の座席番号(1～10)と、座席番号の
番地(1～10)で指定します。座席表の座席番号(1～10)と、座席番号の
番地(1～10)で指定します。

チケット発売
お問合せ 京都コンサートホール
☎075-711-3231
〒600-8222 京都府京都市中京区下京町1-25

※京都市交響楽団の公演は、京都市交響楽団のホームページで詳しくお知らせいたします。

第20回京都の秋 音楽祭 2016年9月18日(日)～11月27日(日)

主催 京都市/公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団
協賛 ROHM株式会社 平成28年度文化芸術振興費 京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた音楽との出会いをお届けします。

2016.10 OPEN
ロームシアター京都
ROHM Theatre Kyoto

3 市民ふれあいステージ

時期：平成 28 年 10 月 1 日（土）、2 日（日）

場所：梅小路公園

概要：一般公募によるステージパフォーマンス、展示コーナーを実施
45 団体、938 名が出演

入場者数：53,000 名

4 円山コンサート

(1) フォークコンサート「京の旅人 again」

時期：平成 28 年 10 月 8 日（土）

場所：円山公園音楽堂

概要：あのねのね、南佳孝、太田裕美等が出演

入場者数：2,052 名

(2) カントリードリーム

時期：平成 28 年 10 月 9 日（日）

場所：円山公園音楽堂

概要：チャーリー・マッコイ、三田ひろし、ケイコ・ウォーカー等が出演

入場者数：704 名

5 その他

連携事業 18 事業

(参考1) 年表

年度	回数	世の中の出来事	京都市政の出来事
16	1	アテネ五輪 新潟県中越地震 mixi がサービス開始	京都文化祭典開始 助成金等内定者資金融資制度創設 京響 50 周年事業の開催
17	2	平成の大合併 50 市町誕生 郵政民営化法案で自民混乱	京北町を右京区に編入 第 1 回京都会館再整備検討委員会開催
18	3	トリノ冬季五輪で荒川静香が金 ライブドア事件 日本郵政株式会社発足	京都文化芸術都市創生条例を施行 京都国際マンガミュージアム開館 文化庁が関西分室を設置 京都文化芸術都市創生計画を策定
19	4	浜松・新潟が政令指定都市に 万能細胞 (iPS 細胞) 作製に成功 国立新美術館開館	「京都創生座」第 1 回公演 京都市新景観政策施行 地下鉄東西線右京へ延伸
20	5	北京五輪 リーマンブラザーズ破綻	京都・映画誕生 100 年記念事業開催
21	6	オバマ氏、第 44 代米大統領に就任 衆院選で民主党勝利、政権交代へ 初の秋 5 連休 (シルバーウィーク)	第 60 回華道京展開催 京都薪能第 60 回記念 京都市フィルムオフィス開設 京都芸術センター 10 周年記念事業を実施
22	7	東北新幹線全線開通 朝青龍, 引退 日本振興銀行破綻, 初のペイオフ	京都会館 50 周年記念 京都堀川音楽高校移転開設 京都国際舞台芸術祭 2010 開催 「はばたけ未来へ! 京プラン」策定
23	-	九州新幹線全線開通 東日本大震災 日本総人口が減少	京都会館再整備基本計画策定 「岡崎・あかりとアートのプロムナード」開催 第 26 回国民文化祭・京都 2011 開催 京都文化芸術都市創生計画 (改定版) 策定
24	8	熊本市, 20 番目の政令指定都市移行 ロンドン五輪 第 2 次安倍内閣始動	「古典の日」制定
25	9	新歌舞伎座が開場 台風 18 号で初の大雨特別警報発令 和食がユネスコ無形文化遺産	“京都をつなぐ無形文化遺産” 制度創設 京都文化芸術コア・ネットワーク設立
26	10	消費税 8% 集団的自衛権行使容認, 閣議決定 STAP 細胞騒動	京都文化芸術プログラム 2020 策定 第 1 回京都国際映画祭開催 琳派 400 年記念祭開催 PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭 2015 開催
27	11	北陸新幹線開業 デジアナ変換サービス終了	京都市動物園リニューアルオープン ロームシアター京都リニューアルオープン 伊藤若冲生誕 300 年記念事業実施
28	12	熊本地震 リオ五輪 英国, 国民投票で「EU 離脱」を決定	スポーツ・文化・ワールド・フォーラム開催 東アジア文化都市 2017 京都開催 大政奉還 150 周年記念事業実施 京都文化芸術都市創生計画 (第 2 期) 策定

(参考2) 京都文化祭典総入場者数及び京都市予算額の推移

年度	文化祭典総入場者数 (万人)	市予算額 (千円)	備考
16	56	140,000	
17	100	93,498	
18	63	96,741	
19	65	71,950	
20	70	82,364	
21	107	61,178	
22	90	66,549	
23	-	-	国民文化祭・京都 2011 開催
24	98	60,828	
25	88	42,128	
26	66	41,685	
27	104	41,642	
28	79	38,592	

※総入場者数は、「主要事業」「連携事業」「協賛 (パートナー) 事業 (H25 まで)」の期間来場者数の合計。ただし、京都学生祭典は合計数に大きく影響することから統計に含めない。

(参考3) 平成 24~28 年度の共通広報概況

年度	広報物/部数	配布先
24	パンフレット/150,000 部 ポスター (B3) /12,000 部	全国空港・自治体, 関西圏内の鉄道会社, 旅館・ホテル, 観光案内所, 大学, 市関連施設, 協賛事業主催者等
25	パンフレット/150,000 部 ポスター (B1) /60 部	全国空港・自治体, 関西圏内の鉄道会社, 旅館・ホテル, 観光案内所, 大学, 市関連施設, パートナー事業主催者等
26	リーフレット/30,000 部 ポスター (B3) /12,000 部	全国空港・自治体, 関西圏内の鉄道会社, 旅館・ホテル, 観光案内所, 大学, 市関連施設等
27	リーフレット/40,000 部 ポスター (B3) /12,000 部	全国空港・自治体, 関西圏内の鉄道会社, 旅館・ホテル, 観光案内所, 大学, 市関連施設等
28	リーフレット/40,000 部 ポスター (B3) /11,000 部	全国空港・自治体, 関西圏内の鉄道会社, 旅館・ホテル, 観光案内所, 大学, 市関連施設等

(参考4) 京都文化祭典連絡協議会委員

※平成 28 年 4 月 1 日現在

職名	氏名	団体等職名
座長	平井 誠一	株式会社西利 代表取締役社長
副座長	佐藤 典司	立命館大学経営学部 教授
委員	柴田 智靖	公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団 事業企画課長 「京都の秋 音楽祭」担当
委員	徳田 洋典	公益社団法人京都青年会議所 平成 28 年度理事長 市民ふれあいステージ企画運営委員会 委員長
委員	福井 正興	京都名産品協同組合 理事
委員	松田 晋	公益社団法人京都青年会議所 平成 28 年度副理事長
委員	船木 康司	京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課 事業推進担当課長
監事	藤井 龍美	一般社団法人京都銀行協会 専務理事
監事	秋山 正俊	京都市文化市民局文化芸術都市推進室 文化芸術企画課長

Ⅲ 未来への提言

1 京都文化祭典のアウトカム／インパクト

(1) 市民の文化芸術活動のより一層の振興

京都文化祭典では、当初から首尾一貫して「市民の文化芸術活動のより一層の振興」を目的とし、様々な取組を行ってきた。これらの取組の主な成果として、民間主導の様々な事業を誘発してきたことが挙げられる。

ア 寺社仏閣での文化芸術の催しの定着

京都文化祭典では、開始当初から、「古都五宴」（平成 19 年度から「古都の宴」）や「平安神宮幻夜コンサート」など、寺社仏閣を舞台にした催しを開催してきた。

先行事例はいくつかあったものの（京都新聞「平安神宮 紅しだれコンサート」、JR 東海「都のかなでコンサート」など）、京都文化祭典の各事業も触媒の一つとなり、京都では、民間主導で毎年のように類似の催しが開催されるようになっている。

代表的な例としては、教王護国寺（東寺）での「Live Earth」（平成 19 年）や、下鴨神社での「糺の森芸術祭」（平成 22 年～）、「KYOTO NIPPON FESTIVAL」（平成 28 年～）等が挙げられる。

イ 京都映画祭の継承

平成 16 年度以降、京都文化祭典の一環として開催してきた「京都映画祭」は、平成 24 年度で幕を閉じた。

その後、「京都映画祭」の理念を受け継ぎ、また、同祭で表彰を実施していた牧野省三賞を継承し、平成 26 年度、民間企業が主体となって「京都国際映画祭」が立ち上げられた。

ウ 協賛（パートナー）事業の集積

京都文化祭典では、開催当初から「協賛事業」（平成 25 年度から「パートナー事業」）を募り、総合的に集積してきた。第 1 回には 119 事業であったものが、最も多い時で 182 事業まで増加した。

(2) 観光客 5000 万人構想の実現

京都市では、平成 12 年に「観光客 5000 万人構想」を宣言して以来、観光振興を都市経営上の最重要政策の一つに位置付けてきた。京都文化祭典も、このような趣旨に沿うものとして、当初から他都市からの集客も志向してきた。

京都文化祭典の総入場者数は平成 21 年度には 107 万人に達しており、これをはじめとして、「源氏物語千年紀事業」や「京都・花灯路」等による誘客、さらには全国的な「京都ブーム」、欧米を中心とした「日本ブーム」も追い風となり、平成 20 年には目標年次である平成 22 年より 2 年早く、「5000 万人観光都市」を実現した。

(3) 文化芸術イベント情報の集約と発信

京都文化祭典では、連携事業、協賛（パートナー）事業として、同時期に開催される 100 以上の文化芸術イベント情報を集約し、例年、共通広報のためのパンフレット等を作成してきた。主要事業・連携事業・協賛（パートナー）事業（平成 25 年度で廃止）の開催情報をまとめて掲載し、市の関連施設、観光案内所や府内の旅館・ホテルのほか、全国の空港や自治体等、広範囲での配布を行い、京都で当該時期に行われる文化芸術イベントの総合的な情報を広く発信してきた。

さらに、多様な情報を効果的に発信する媒体として、京都市では、当協議会ホームページのイベントカレンダー機能を継承しつつ、京都文化芸術オフィシャルサイト「Kyoto Art Box」を開設された。これにより、秋季のみならず年間を通じて、WEB 上でイベント情報を集約し発信するという仕組みが確立された。

2 政策環境の変化と京都文化祭典の理念継承

京都文化祭典は、市民の文化芸術活動のより一層の振興、観光客 5,000 万人構想への寄与等の大きな目的を掲げ、これを着実に達成してきた。一方で、事業開始から 10 年以上が経ち、京都の文化芸術を取り巻く政策的な環境も変わり、特に平成 26 年度以降、以下のとおり大きな転換点を迎えようとしている。

(1) 政策環境の変化

ア 京都観光振興計画 2020

平成 20 年に達成した「京都市観光客 5000 万人構想」の次のステップとして、平成 22 年策定の「未来・京都観光振興計画 2010⁺」では、観光客の量から観光の「質の向上」へと大きく方針を転換し、さらに平成 26 年 10 月には「世界があこがれる観光都市」を目指して、「京都観光振興計画 2020」を策定した。

イ 京都文化カプロジェクト 2016-2020

(ア) 東京オリンピック・パラリンピック

平成 25 年 9 月、2020 年夏季オリンピック・パラリンピックの東京での開催が決定した。オリンピックは「文化の祭典」でもあり、とりわけ平成 24 年のロンドン五輪では、その「文化プログラム」に大きな関心が寄せられた。

京都市では、東京五輪の開催決定を受け、直ちに独自の文化プログラムの検討に着手し、平成 27 年 2 月には「京都文化芸術プログラム 2020」を策定した。(平成 28 年 8 月に「京都文化芸術プログラム 2020⁺」にバージョンアップ)

こうした動きは、京都全体にも広がり、平成 26 年 8 月には梅原猛氏、千玄室氏らによって「京都文化フェアの呼びかけ」が行われ、平成 28 年 3 月には、京都市のみならず、京都府や京都商工会議所等も参画し、オール京都によって「京都文化カプロジェクト 2016-2020 基本構想」が策定された。

さらに国全体においても、平成 28 年 10 月 7 日東京において「東京 2020 文化オリンピック」のキックオフセレモニーが実施され、同年 10 月 19 日にはキックオフイベントとして、京都、東京にて「スポーツ・文化・ワールド・フォーラム」が開催された。

(イ) 2020 年までのロードマップ

「京都文化芸術プログラム 2020⁺」及び「京都文化カプロジェクト 2016-2020 基本構想」には、平成 32 年度に向けて、様々な事業が構想されている。

代表的なものとしては、平成 29 年に日中韓 3 都市の文化交流事業「東アジア文化都市 2017」が、また、平成 31 年度に「国際博物館会議 (ICOM) 京都大会 2019」が、それぞれ開催される。これらと並行して、京都市美術館の再整備、京都市立芸術大学の移転も予定されている。

ウ 文化庁の京都への全面的移転

東京五輪の開催決定に加え、平成 28 年 3 月、文化庁の京都への全面的移転が閣議決定された。平成 27 年 3 月に国が政府関係機関の地方移転に係る提案を募集したことを受けて、京都市や経済界、宗教界、文化芸術関係者等が一丸となり、オール京都はもちろん、関西が一体となって国に対し要望を行ってきた成果である。

文化庁移転方針決定を受け、京都が、文化の力による日本の地方創生へ貢献し、文化を通じて全国の地場・伝統産業等の振興に取り組むことが期待されている。世界の文化首都である京都にとって、文化庁の移転を契機として、全国を牽引する文化芸術施策の展開がこれまで以上に求められる。

(2) 京都文化祭典の理念継承

東京五輪の開催を契機とした「京都文化カプロジェクト 2016-2020」、文化庁の京都への全面的移転を契機とした様々な取組。

これらを控え、京都文化祭典は、京都における大規模な文化芸術フェスティバルの先駆けとして、その理念を、後続の事業にも継承する必要がある。

3 京都文化祭典の成果・反省からの提言

(1) 京都文化祭典のノウハウの継承

京都文化祭典では、寺社仏閣など、京都らしい場所でのイベントや、伝統芸能と現代音楽など異なるジャンルを融合させた文化芸術イベント、市民参加型のステージイベント等を、継続的に実施し、今後開催される催しにも応用可能な、汎用性のある土台を作り上げた。

特に、当協議会の前身となる「京の華舞台実行委員会」では、委員として演者が参画していたことにより、異分野の演者等の競演を多数実現し、後のモデルを示すことができた。

また、協賛（パートナー）事業、連携事業あわせて100以上の事業をまとめて広報することで、市内全域で実施される文化芸術イベントを一体のものとして可視化することができた。各事業内容も、音楽、ダンス、伝統芸能、映画、演劇、美術、工芸、マンガ・アニメ等、広範囲にわたり、エディンバラ・フェスティバルを目指す文化芸術の祭典として、近い形が実現できたと言える。

これらの京都文化祭典が培ったノウハウ、プラットフォームは後続の事業においても、着実に継承されたい。

(2) 京都文化祭典の反省

一方で、特に主要事業においては、出演者や内容の固定化等、慣習的に事業を実施する傾向にあり、事業の拡大や新しい集客へは繋げ辛い状況となっていた。

入場者数については、「観光客5000万人構想」実現への寄与など一定の功績を挙げ、主要事業は年々増加傾向にあったが、連携事業によって大きく左右されるため年度のムラが大きく、文化祭典全体として規模を拡大することはできなかった。

また、大きな課題としては、文化祭典としてのコアが不透明で、独立した様々なイベントをまとめてひっばっていくというところまではとどき着けなかった点が挙げられる。連携事業は京都市が主体で行っているもののみとしており広がりが薄かったこと、また協賛（パートナー）事業についてはパンフレットへの掲載以外は実効性のある関わり方ができておらず、一体感に欠けていた。さらに、共通広報を行ってはいったものの開催時期のばらつきが大きく、一方的な情報の羅列の発信のみとなってしまうため、観客の来場意欲を高めるようなニーズにあったイベントの実施、情報の編集、効果的な配信が必要であった。

(3) 京都版エディンバラ・フェスティバルの創造

もし、あくまでエディンバラ・フェスティバルを理想に掲げ、京都文化祭典そのものがDESTINATIONとなるようにするというのであれば、開催時期を揃えたり、核となるプログラム群に一つの方向性を持たせるためのディレクターを置いたりし、祭典としての輪郭をより明確にする必要があるだろう。

しかしながら、京都というまちの特性を鑑みると、独立したハイレベルの文化・芸術イベントの数は多いものの、個々が強い意思を持つ催しが多く、それらを強力でまとめるディレクターの起用や莫大な予算がひつようであり現実的にかなり困難であること、また、ただ同時期に開催し、あわせて広報するというところにそれほど大きな利点がなく、むしろ同時期に開催することで集客が分散する可能性が大きいことなどから、エディンバラ・フェスティバルそのものの開催を目指すことは京都の実態との乖離が大きいと考える。

近年、京都市では「琳派400年」「伊藤若冲生誕300年」「大政奉還150周年」などの大きな周年事業を毎年主体的に実施し、文化芸術のトレンドを牽引していく動きがあり、また文化庁移転を契機とした京都が担う役割を考え、京都が先端に立って全国を巻き込んでいくような、またトレンドの中心として周囲や世界を動かすような、独自の「京都版エディンバラ・フェスティバル」を目指すべき形として、今後の文化力プロジェクト等に京都文化祭典の理念やノウハウを継承していくことが望まれる。

